資料1

■住民等アンケート調査（能勢町のまちづくりと公共交通に関するアンケート）結果【第一集計速報】

調査概要

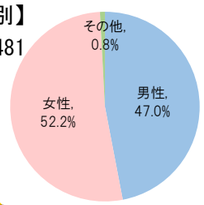
- 実施期間：R8.8.3 配布から R8.9.16 回答着分まで
  ※本資料で示す第一集計は R8.08.18 到着分までの集計
- 調査対象者：①住民（令和８年７月時点で住民基本台帳の中から無作為に抽出）：1,800 名
  ②能勢分校生（８月 25 日配布、９月 16 日回収）：69 名
- 調査・回答方法：①郵送配布・郵送回収、郵送配布・ＷＥＢ回答
  ②対面配布、書面・ＷＥＢ回答

アンケート用紙配布数	1,800 票
アンケート用紙回収数（Web 回答含む）	509 票
有効回答数	509 票
回収率	28.3%

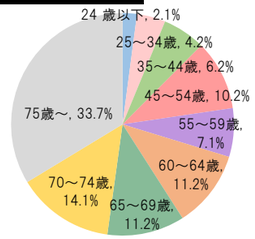
※2026.08.18 時点

回答者属性

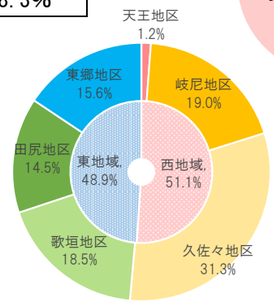
【性別】 N＝481



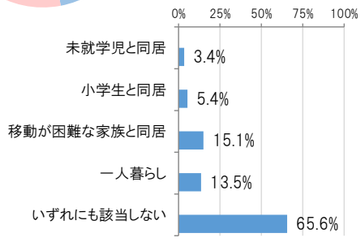
【年齢】 N＝481



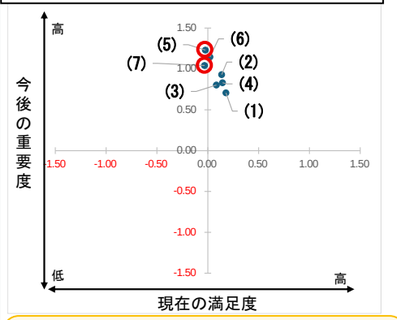
【居住地域】 N＝422



【家族構成】 N＝465



重点化目標１
次世代を担う人を育て、結婚・出産・子育ての希望をかなえる



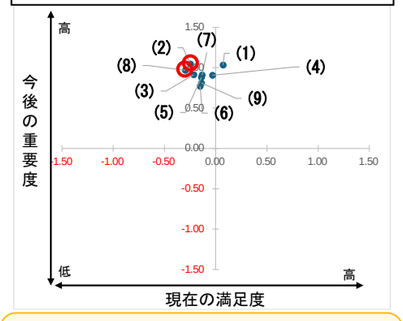
（７）遊び場、居場所の創出を通して、地域と一体となった学校づくり、能勢の文化を学ぶ機会の創出など、子どもたちの豊かな遊び・学びを実現する

➡ **子どもの遊び・学びの場の確保**

（５）医療･保健･福祉のサポートや交流機会の提供などにより安心して子育てできる環境を充実させる

➡ **子育て支援環境の充実**

重点化目標２
地域外の人との関わりを深め、人の流れをつくる



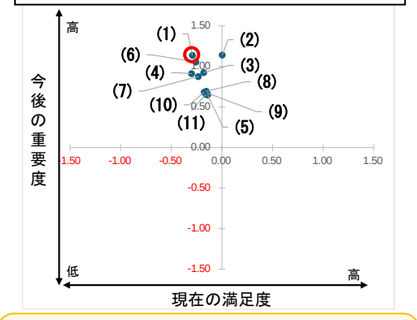
（２）空き家バンク制度の充実を図り、住まいや住環境の確保に取り組み、本町での新生活を支援する

➡ **移住・定住の受け皿となる住宅確保や空き家活用の推進**

（８）多様な産業の誘致や定住促進を図り、企業活動を支え、活力ある暮らしを支える土地利用を推進する

➡ **産業誘致や雇用創出による働く場の確保**

重点化目標３
地域資源を生かした自律的なまちをつくる



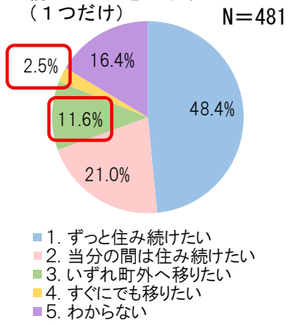
（１）担い手確保や農地集約、鳥獣対策、６次産業化などにより、持続可能な農業を展開する

➡ **持続可能な農業と担い手確保**

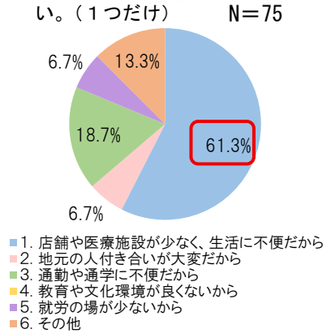
【満足度×重要度】について
満足度が低く、重要度の高い項目について示し、施策の課題や方向性などを示しています。

調査結果

Q．あなたは今後も、能勢町に住み続けたいと思いますか？（１つだけ） N＝481



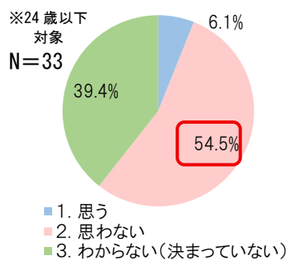
Q．移りたい理由を教えてください。（１つだけ） N＝75



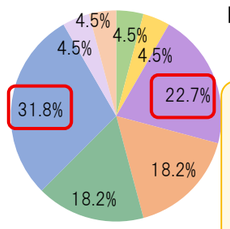
住み続けたいと意向を示す人が過半数を占める一方で、町外への転出の意向がある人も一定数みられる。移りたい理由で「店舗や医療施設が少なく、生活に不便だから」が約6割を占める。

➡ **高齢化を見据えた生活基盤サービスの維持**

Q．高校や大学等を卒業したあとに能勢町内に居住して、就職したいと思いますか？（１つだけ）



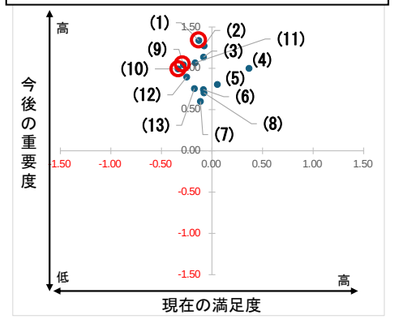
Q．高校や大学等を卒業したあとに能勢町内に居住して、就職したいと思わない理由を教えてください。（１つだけ） N=22



卒業後に能勢町内に居住して就職したいと思わないが約5割。
その理由として、「都会の方が便利だから」、「町内の職場は給料が安そう」等。

➡ **若者世代の定住促進と流出抑制**

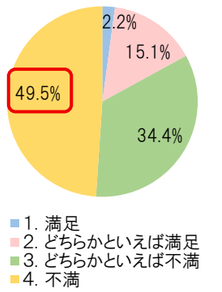
重点化目標４
住み続けられる魅力ある地域をつくる



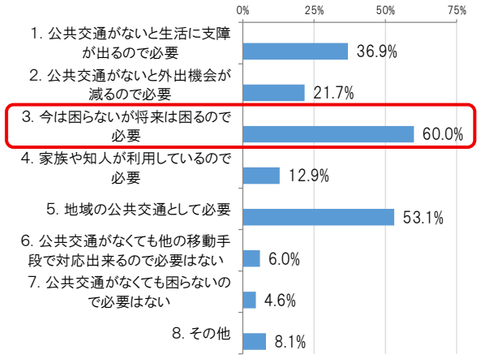
（１）医療と介護の連携強化、安心・安全な病児病後児保育の整備など、医療体制の充実を図る

➡ **医療・介護体制の充実と地域包括ケアの推進**

Q．能勢町内のバスでの移動に満足していますか？（１つだけ） N＝93



Q．路線バスの必要性についてお尋ねいたします。（あてはまるものすべて）



（９）ニーズや地域特性に応じた公共交通サービスの提供、既存の路線バスの維持に向けた支援などにより、持続可能な公共交通ネットワークを実現する
(10)新たな交通手段の導入、交通結節拠点の整備、電動モビリティの普及など、新たな地域交通システムを導入する。
また、路線バスの必要性について、**「今は困らないが将来は困るので必要」が約6割。**

➡ **高齢化を見据えた移動環境・公共交通の確保**